



甲状腺エコー検査を受けられるみなさんに
この検査の意義について正しくご理解いただきたい、との思いから
このパンフレットを作成しました。

甲状腺エコー検査を受けられるみなさんへ

2018 年度版

【事務局・お問い合わせ先】

NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ

〒379-0222 安中市松井田町松井田 564

Tel: 027-384-3131

(受付時間：平日 9 時～17 時 00 分)

Fax: 027-384-3130

E-Mail: annaka-hidamari@kem.biglobe.ne.jp

放射線の健康への影響には様々な見解があります。

それを理解した上で、3.11 から 7 年が経過した今、私たちにできることは、子どもたちの暮らす環境中に未だに在るリスクを過小評価せず、その健康に注視し続けていくこと。

このような思いで、私たちは、群馬県における「甲状腺エコー検査事業」及び「土壌の放射線測定事業」を実施します。

子どもたちの健やかな成長を願い、「今できることをしよう」「今からでも遅くない」という思いが集まり、今年度もこの事業が実施できることに心から感謝いたします。

2018 年 5 月 12 日

NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ 代表理事 神戸るみ



検査についてのご説明

● 私たちが行うエコー検査の目的

現時点での甲状腺の状態に異常があるかないかを見分けることを第一の目的としています。(これをスクリーニング検査といいます。)

● 私たちが行うエコー検査の方法

日本乳腺甲状腺超音波医学会が定め甲状腺超音波診断ガイドブックに記されている検査方法により検査を行います。甲状腺の左葉・右葉・峡の横断観察、右葉・左葉の縦断観察を行い、画像を撮影します。

● 私たちが行うエコー検査の内容

この検査は、エコー検査に関する有資格者が検査を担当し、報告書を作成します。医師は立ち合いませんので診断はできませんが、画像所見に基づき、福島判定（※詳しくは6ページ）に則った報告書を作成します。

● 個人情報の取り扱い

この検査を実施するにあたり、検査スタッフは、あなたの名前や住所など、あなた個人に関する情報を知ることがありますが、当該スタッフには守秘義務が課せられています。

また、アンケートや検査結果などは、電子ファイルで保存しますが、ネットワークに接続していないコンピュータでのみ操作します。また、受検者リスト以外のファイルでは、受検者リストで連結可能匿名化した受検者番号で個人情報を取り扱います。

以上のように皆さまの個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、外部への漏えいが起こらないようにします。

● 結果の公表

検査結果は、評価及び研究のために公表されることがありますが、その場合には、あなたの名前などの個人情報は厳重に守られ、第三者に知られることはありません。

この検査により得られた情報の公表については、あなたの同意が必要です。

● 同意書

本紙を含む説明文書等をお読みになり、私たちが行う甲状腺エコー検査について理解・納得された後に、別紙「甲状腺エコー検査同意書」にあなたが自筆署名をすることによって、あなたの同意が得られたことになります。



特にご理解いただきたい事柄

●この検査はスクリーニング検査です

スクリーニング検査とは、自覚症状を持って臨む病院での検査とは異なり、甲状腺異常のあり・なしを見分けることを目的にした検査です。なぜなら、甲状腺異常を早い段階で発見することで、対策も早く講じることができるからです。もし甲状腺に何らかの異常が疑われる場合は、群馬県内の医療機関を紹介する形になります。

●本日の検査は医療機関における検査・検診ではありません

本日の検査を担当するのは、エコー検査に関して資格を有す技師であり、医師ではありませんので、診断をすることはできません。

担当技師は画像所見に基づいて、福島判定（※詳しくは6ページ）に則った報告書を作成します。

結果の精度は確保しておりますが、保証するものではないことをご理解ください。

●本日の検査は、現状において甲状腺がんの兆候のあり・なしを見分けるスクリーニング検査です

そのため、今回の検査によって全ての甲状腺に関わる疾患が発見できるということではないことをご理解ください。

●この事業に関わる会費（1time サポーター会費）は、当該事業実施主体である NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェの活動趣旨にご理解・ご賛同いただいた上での会員会費となります。 ※会員の種類については7ページをご覧ください



原発事故の影響が甲状腺にあるかもしれない、と考える理由

原子炉の中には、原子力発電をすると出てしまう放射性核種（放射線を出す原子）が溜まっていきます。原子炉の事故では、このゴミが管理できない状態で大気中や水中に出てしまいます。2011年3月11日の事故では、放出された放射性核種が大気の流れに乗って群馬県にも届けられてしまいました。

届いた放射性核種は、空気中に漂っていたり、地面に降りて草木の表面に付着するものもあれば地中に入るものもありました。地面に入った原子の一部は、水と一緒に植物に取り込まれます。草木の表面からも直物中に入り込みます。

これらの放射性元素から出ている放射線がサーベイメーターで測定される空間線量を高くしていた訳ですが、これはいわゆる外部被ばくですので、その環境に居る時間を短くし、放射性核種から離れ、遮へい物を置くことで個人の被ばく量を減らすことができます。

ですが、原発事故が起こった場合の放射線被ばくを考える際には、内部被ばくも考えなければなりません。

私たちは食べ物を食べ、水を飲み、息を吸って生きています。この食べ物や水、空気に放射性核種が含まれていると、放射性核種を身体の中に取り込んでしまう可能性があります。実際、群馬県にも大気によって運ばれた放射性核種があったため、避けることはできませんでした。

原子炉で作られる放射性核種にはいろいろありますが、ヨウ素という原子は[放射性であってもなくても空気からでも食べ物からでも]人間の身体に入ると、その多くが甲状腺に集まり、一定期間ここに留まります。集まったヨウ素が放射性核種であった場合、甲状腺は近すぎる距離で放射線を浴びることになります。このため、放射線の影響が心配されるのです。ただし、放射性ヨウ素は半減期が短いため、現在では体内の放射性ヨウ素そのものを測定することはできません。

放射線が細胞にあたると、何事も起こらないこともあります。細胞を殺したり、DNAを傷つける場合があります。細胞の傷の多くは修復されますが、間違っ（元通りにではなく）修復されたり、修復されない細胞があると健康上の問題を生じることになります。

このような理由から、福島県の子どもたちをはじめ、大気の流れに乗って放射性核種が届けられたと考えられる全ての地域において甲状腺エコー検査を実施し、子どもたちの甲状腺の状態を注視していくべきであると私たちは考えています。

しかし、甲状腺に限らず、健康上の問題は放射線だけが原因ではありません。体に現れる症状が、原発事故による放射性核種の影響と特定することは困難ですが、一人ひとりの現在の健康状態を知ること、そして集団としての疾患構造を知っておくことは、個人にとっても社会にとっても現在から将来にわたって有益な情報をもたらしてくれます。



甲状腺ってなに？ 甲状腺の基礎知識

●位置と形、大きさ

位置：のどぼとけの少し下

形状：気管に沿って、蝶が羽を広げたような形

名称：大人で片側1～2cm、縦4～5cm、厚さ1～2cm、重さは20g程度

子どもでは大人の半分、男性は女性よりも少し大きく、位置はやや足側になる

構造：細胞が取り巻く濾胞が甲状腺の機能単位

●はたらき

甲状腺ホルモンの分泌器官（内分泌腺）

…タンパク質の合成を促進し、新陳代謝を活発にする（ヨウ素が原料）

細胞や組織の発育に重要であり、子どもの成長には不可欠なホルモン

⇒胎児期：中枢神経の発達

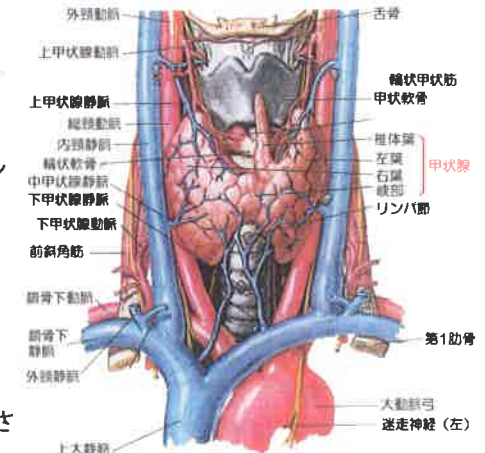
幼児期：筋肉・骨格の成長

少年期：視床下部・脳下垂体の成熟

●ヨウ素の集積

吸収したヨウ素の約30%が甲状腺ホルモンの素材として甲状腺に摂取される生体の全ヨウ素量（2～50mg）の80%程度が甲状腺に集中存在！

甲状腺の重さは体重の約0.04%ですが…



相澤尚和 (訳)：メッナー解剖学アトラス、原書第5版、エルゼビア・ジャパン、p74、2011 改題

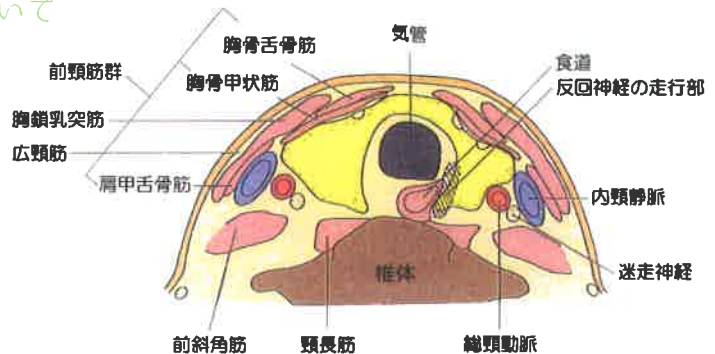


甲状腺のエコー画像について

●甲状腺部の断面

甲状腺の超音波検査では、プローブを当てた部位の表面から奥の状態が画像になります。

甲状腺を含む頸部の断面は、右の図のようになっています。甲状腺を取り囲む気管や食道、血管なども観察することができます。



横沢保, 森田新二：甲状腺・上皮小体超音波診断アトラス、ベクトル・コア p9, 1999 改題

●画像の表示方向

プローブを当てる方向により、次のように言います。

①の方向：首に直角にプローブを当てた画像…横断面 ②の方向：首に沿ってプローブを当てた画像…縦断面



①横断面



②縦断面



検査のながれ

1 検査日までに [ご自宅等]

- ① 事前配布資料「甲状腺エコー検査を受けられるみなさんへ」をよくお読みください。
- ② 検査について納得されましたら、同意書に必要事項を記入してください。
- ③ アンケートにご回答ください。

2 検査の受付 [受付]

- ① 会場に到着しましたら、受付にお越しください。
- ② 同意書及びアンケートをご提出ください。
- ③ 私たちが行う甲状腺エコー検査にご理解・ご賛同された上で寄附の形態（詳しくは8ページ）をご検討いただき、お手続きをしてください。
- ④ 名前が呼ばれるまでお待ちになり、呼ばれましたら検査室にご移動ください。

3 検査の進め方 [検査室の中]

- ① ベッドに仰向けに寝て、あごを上げて、首を伸ばしてください。
- ② プローブをのどにあてて検査が始まります。
ジェルを塗りますので、少し冷たい感じがします。
※痛みは全くありません。お1人の検査時間は約3分～5分となります。
- ③ プローブを動かしながら甲状腺の様子を観ます。
- ④ 時々「息を止めて」と言いますので、動かないで息を止めてください。（何枚か写真を撮ります。）
- ⑤ 「はい、終わりです」と言われたら検査終了です。首についたジェルをふいてください。
- ⑥ 画像等を受け取り、待合所でお待ちください。

4 検査結果の受け取り [待合室]

- ① 報告書をお受け取り下さい。結果についての説明等は特に行っておりませんので、これで検査終了となります。お気をつけてお帰りください。

5 検査結果の確認など [ご自宅等]

- ※ 何か疑問があれば、パンフレットに記載の連絡先にお問い合わせください。
- ※ 専門医の受診を勧められた方は、必ず受診してください。

その他の注意事項

- ・ 検査日当日の服装：のどの部分のエコー検査ですので、襟ぐりの開いた服装でご参加ください。
- ・ 当日急遽欠席される場合や受付時間に遅れる場合は、下記連絡先にお電話をお願いいたします。

027-384-3131

(NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ)





検査の結果について

この検査における検査画像の読影は、日本乳腺甲状腺超音波医学会のガイドラインに沿って行います。
また、この検査結果は医師による診断書ではなく、画像所見に基づき、福島で実施されている県民健康調査における判定基準『福島判定』に則って作成した報告書であることをご理解ください。

●福島判定について

A1：のう胞、結節を認めないもの

A2：最大径が5mm以下の結節または、最大径が20mm以下ののう胞が認められるもの

→ A1、A2ともに、定期的な受検をお勧めします。

B：最大径が5.1～20mmの結節または、最大径が20.1mm以上ののう胞が認められるもの

→ 群馬県内の医療機関をご紹介いたしますので、受診をお願いいたします。

C：結節の最大径が20.1mm以上のもの

または、形状・性状から直ちに二次検査が必要なもの

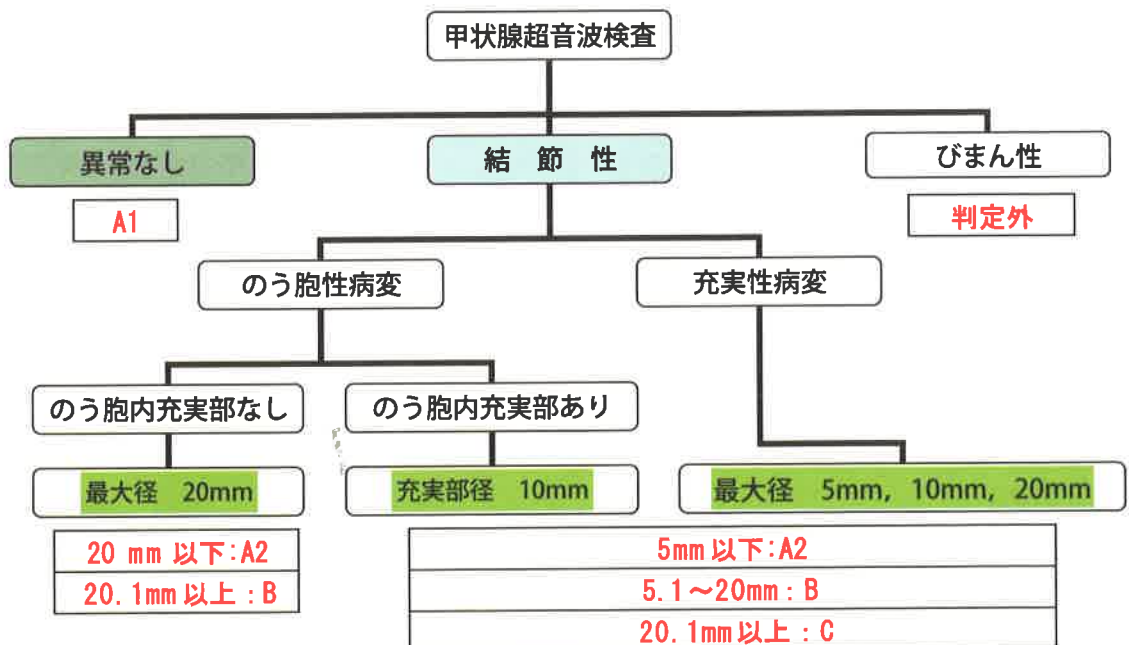
→ 県内の医療機関をご紹介いたしますので、ただちに受診してください。

B判定、C判定の方：後日、お電話にてその後の経過をお伺いさせていただきます。

●用語の説明

のう胞性：袋の中に液状成分が溜まっていて、やわらかく弾力のある状態

充実性：固形成分のかたまりで、こぶのような硬い状態



赤い文字：福島判定

緑色背景：学会の判断基準